第２学年　英語科学習指導案

１　単元名

New Crown 2　Lesson 4　Enjoy Sushi　USE　Speak　〈会話を広げよう〉

2　単元の目標

(1) 日本の食文化について関心を高めることができる。

(2) There is〔are〕～、や動名詞を理解し、使うことができる。

(3) すしについての説明文を読むことができる。

(4) いろいろなトピックについて英語で相手の言ったことを確認したりして、会話を広げることができる。

3　単元の指導計画（全１１時間）

第１次　there is / are ~ 構文の用法を理解し、身近にあるものを参考にして表現する。（２時間）

第２次　動名詞の用法を理解し、自分のことについて表現する。日本の食文化について理解を深めることができる。（２時間）

第３次　すしについての説明文を読み、理解することができる。（４時間）

第４次　相手の言ったことを確認したりして、会話を広げることができる。（２時間）

第５次　ALT を交えて自分が住む地域を紹介する内容を、There is/are などの適切な英語や動作を使い、自然な流れで会話を進めることができる。（１時間）

4　本時の計画（１０時間目／全１１時間）

(1)　本時のねらい

即興的に話す力について、既習の語彙や文法、また、つなぎ言葉やジャスチャーを使い、与えられた課題にそって適切に会話を続けることができる。

(2)　本時のねらいを達成するための手立て

本時では「自然な流れで、ALT と会話をすることができる」ということが最終目的になるため、会話内容とそれを伝えるための動きの部分に焦点を当てた授業展開を行う。

①　それぞれの活動の目標、時間配分、役割分担を明確にする。

②　評価項目に会話の内容や回数だけでなく、ジェスチャーの内容も取り入れる。

③　質問力の強化のため、日々の「帯活動」で既習の文法を用いたパターン練習やつなぎ言葉使用の練習をする。

（3）展開

学習活動	教師の働き掛けと予想される生徒の反応	評価基準（観点/方法）・○留意点
導入 ①　あいさつ　（1） （1分） （モデル提示） あいさつ　（2） （1分） ②　忘れ物チェック （3分）	T1 あいさつを英語でする。 S1 簡単なあいさつを全体で声をそろえて返す。 T1 生徒２ペアに直接声をかけて、返答を求める。（モデル提示） S2 英語で適切に返答する。 T1 となりペア、前後ペア、斜めペアで必ず折り返してあいさつをするように指示をする。 S1　指定されたペアであいさつをする。 S2　指定された数の男子・女子とあいさつをする。 S1 ペアや前後でじゃんけんをして、Show me your textbook.といい、お互いに授業道具や宿題の確認をする。 S2　相手への評価として、①～④からのつなぎ言葉を使い、終わったことを確認をする。お互いの振り返りカードに記入する。	○声を全体で出し、あいさつなどをすることができる。 ○英語で適切に返答できる。 ○返答した生徒に必ずよい点などを伝え、褒めること。 【例】 A: How are you today? B: Well, I am (　　).. How about you? A: I am (　). Thank you. 【例】 A: Show me your (　　). B: Here you are. A: ①Well done. ②Perfect. ③Not good. ④Don't forget next time. ○授業道具を用意している。 ○（ペア）英語でお互いに授業道具などを確かめ、学習カードに記入することができる。
③帯活動（1） すらすら英会話シートを使い、質問の仕方や答え方を練習する。 （10分）	T1 すらすら英会話シートを使用して、教師と生徒でモデル提示 あいづちやジェスチャーのやり方を確認。 T1 すらすら英会話シートを使用して、となりや前後のペアで練習。 30秒、１分など、時間を指定する。 S1 生徒は指示に従い練習をする。 T1 いくつかのペアを指定して、モデル提示をしてもらう。そして、褒める。 T1 クリスクロスを使い、生徒の質問の答え方を確認する。 S2 指定された生徒は、質問に答える。	○ペアで決められた役と回数で練習する。 ○質問や答え方がスラスラとできる。リアクションも確認。 ○声量確認 【例】A: What are you going to do this weekend? B: Well, I am going to (　　). How about you? A: I am going to (　　).

展開

④学習課題の提示と説明　（５分）

【手順イメージ】
① 相ずちをする。
② 相手の言ったことを繰り返す。
③ 一言、情報を付け加える。
④ 相手の回答を聞いて、質問をする。

学習課題

○ALT の先生とスモール・トークをするために、自然な流れで会話を広げていくにはどうしたらいいだろうか？

T1　**JTE と生徒でモデル会話を提示し、**説明する。
S1　内容を理解し、「自然な流れとはどんなものか」のイメージを作る。
T1　今日の学習課題を提示する。
S2　Today's Goal と目標を確認。

○自分なりのイメージを作る。
○学習内容と目標を確認する。
○口頭で【手順イメージ】を答える。

Today's Goal

４人班で、与えられた課題(topic)にそって、１分間会話をつなげることができる。

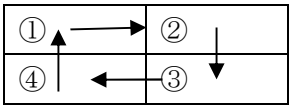
⑤グループ活動（１）（５分）

目標
つなぎ言葉、相づちを使い、単純な英会話を１分間×３セットできる。

T1 4 人班にして、「topic」を書いたプレートを各班に渡す。
S1 決められた順番と役割で会話を１分間つなげる。
S2 途中、言えない場合はつなぎ言葉やジェスチャーを使用するなどして、次の相手につなげる。

Topics
① 天気など
② 昨日したこと
③ 今日これからすること

Ⅰ矢印Ⅱ逆周りⅢランダム



⑥グループ活動（２）本番想定練習（10 分）

目標
つなぎ言葉、相づち、その他のジェスチャーを使い、質問を繰り返したり、付け足したりして、自然な流れで会話を繋げていくことができる。

T1　本番に向けた練習を指示する。
Ss　４人班になり、役割分担と順番、内容、ジェスチャーの 4 点にそってできるように練習をする。

【役割分担】
○①②④は発言者、③は記録者
③は会話終了後、まとめの発表をする。
○言えない場合は、つなぎ言葉やメモボートを使い、相手に自分の意志を伝えること。
○メモ係は、最後に会話内容をまとめて発表する。

Choices
①生徒から事前に取得した質問など
②冬休みの予定
③冬休みに何をしたいか？

ジェスチャー評価
①アイ・コンタクト　②手の動き

４人班の役割

①発言者	②発言者
④発言者	③メモ係

○相手に配慮して、相づち、つなぎ言葉、メモボードを使いながら積極的に練習できる。

⑦グループ活動（3） 相互評価（10 分） 目標 相手の班の「会話活動」を見て、評価項目に沿って評価できる。簡単な英語を使い、結果を相手に伝えることができる。	T1 本番に向けて、どのくらい「自然な流れでできるのか」を確かめよう！と指示する。 S1 評価項目にそって 4 人班で発表し合い、相互評価する。 【確認パートナー班】 1 班　＝　5 班 2 班　＝　6 班 3 班　＝　7 班 4 班　＝　8 班 T1　教師はよかったところや改善点を指摘する。	○発表班は評価項目にそって実演してみる。評価班は確認して、評価する。 ○総合的な結果を英語で相手班に伝えようとすることができる。 ○細かいことについては、日本語で相手班にアドバイスしてOK。 ○班同士の評価活動は、「アドバイス」と言う程度にして、成績には入れないことを伝える。
まとめ ⑧学習内容と理解、活動に対する取り組みについて確認をする。 ⑨次回の予告をして、あいさつをする。 （5 分）	振り返り **与えられた課題や状況で、評価課題にそって、自然な形で 1 分間会話を続けることができたか？** S1 振り返りカードに自己評価をや本番に対する意欲などを記入する。	○本時の活動を振り返り、自己評価用紙や振り返り返りカードに記入する。 ○あいさつができる。

(4)　評価

評価Ａ	1.⑥の活動で、質問・回答数（　5　回）以上で、リアクション数（　4　回）以上ができている。 2.本番に対する意欲・関心・態度を記述式で記入させ、具体的によい点・改善点が記載されている。
評価Ｂ	1. ⑥の活動で、質問・回答数（　3　回）以上で、リアクション数（　2回）以上ができている。 2.本番に対する意欲・関心・態度を記述式で記入させ、よい点がある。